

献血の現状と課題

—東京都の献血状況と献血者確保の取り組み—

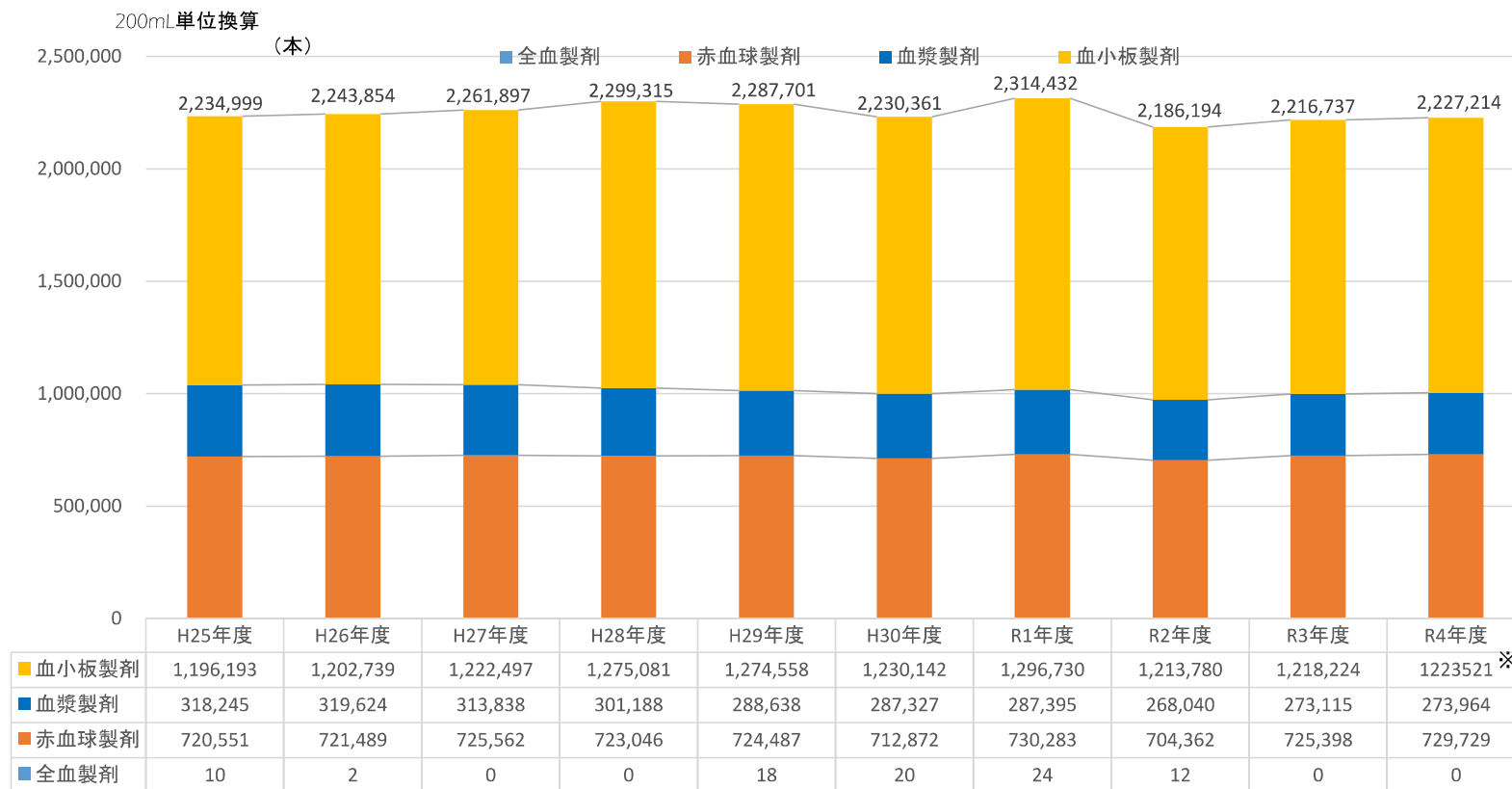
東京都献血推進協議会



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

東京都赤十字血液センター
事業推進一部 田中 真人

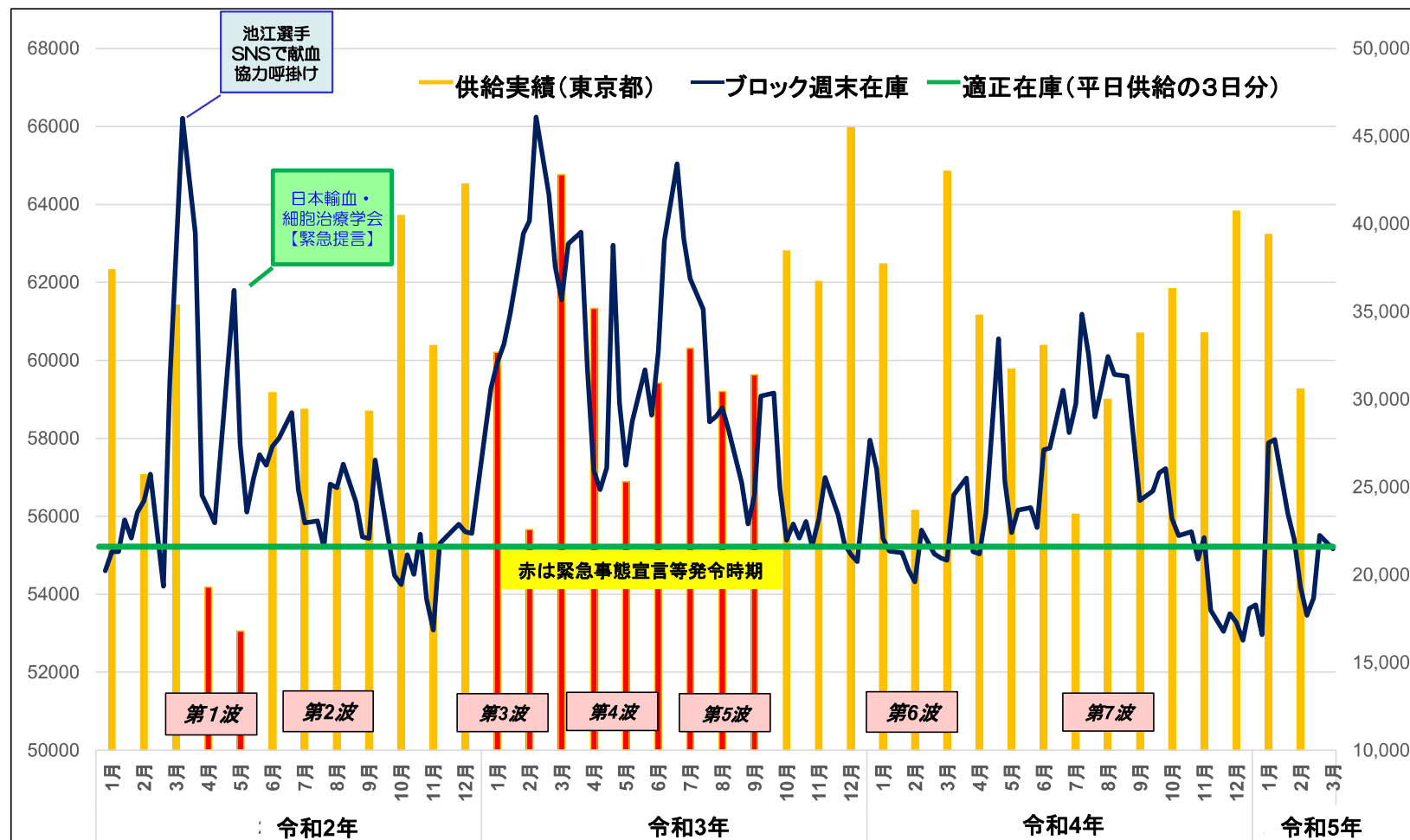
1. 輸血用血液製剤の供給数(東京都)



※令和4年度については4月から2月までの実績値と令和4年度3月計画の合算

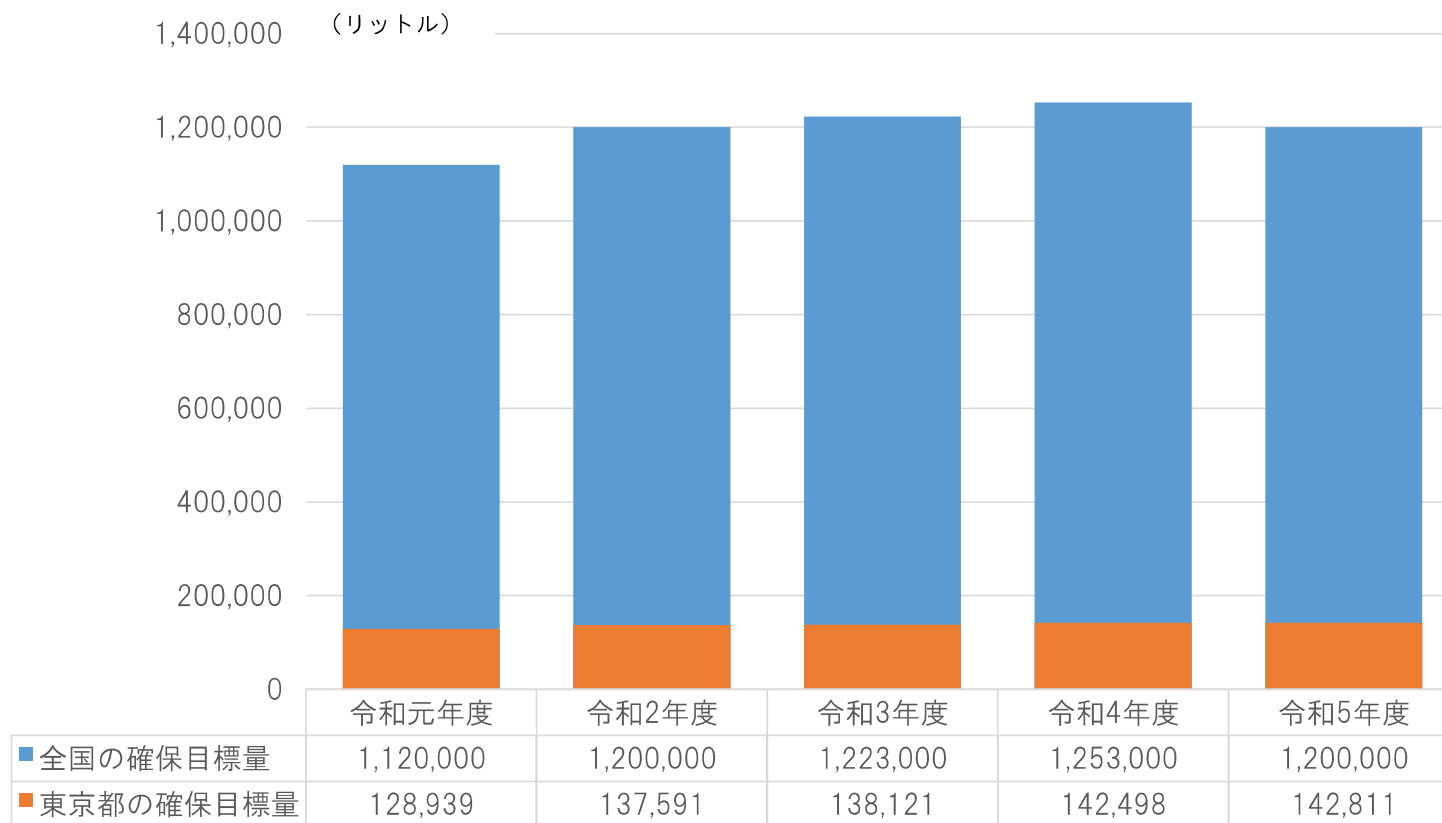
赤血球製剤の供給量はやや増加傾向。
 血漿製剤及び血小板製剤の供給量はほぼ横ばいで推移。

2. 赤血球製剤の東京都内供給実績及び関東甲信越ブロック週末在庫(推移)



流行期には、医療機関も影響を受け都内の赤血球製剤の供給が減少、結果、在庫が増加。流行が収まると供給が増加し在庫が減少。

3. 原料血漿の確保目標量（全国と東京都）



免疫グロブリン製剤の需要増加に伴い、原料血漿の確保目標量も増加していたが、令和5年度の全国の確保目標量は若干減少。
 東京都については令和5年度に新たに「東京八重洲献血ルーム」が開所することから確保目標量は微増。

4. 東京八重洲出張所の開所について

開所時期: 令和5年5月1日開所予定

愛称: 東京八重洲献血ルーム

場所: 中央区八重洲2-1-1 YANMAR TOKYO※ 3階

(※2022年8月竣工、地上14階・地下3階、東京駅八重洲地下街と直結)

面積: 588.28㎡ (177.95坪)

ベッド数: 12ベッド

計画人数: 血漿献血 20,900人 (1日当たり62.6人)

コンセプト: 分画用血漿採血専用ルーム

完全予約制

魅力度の高い新たな献血ルームの実現

血漿分画製剤の社会的認知度向上のための「広告塔」

各種試行の実施とその検証を行う「パイロットルーム」

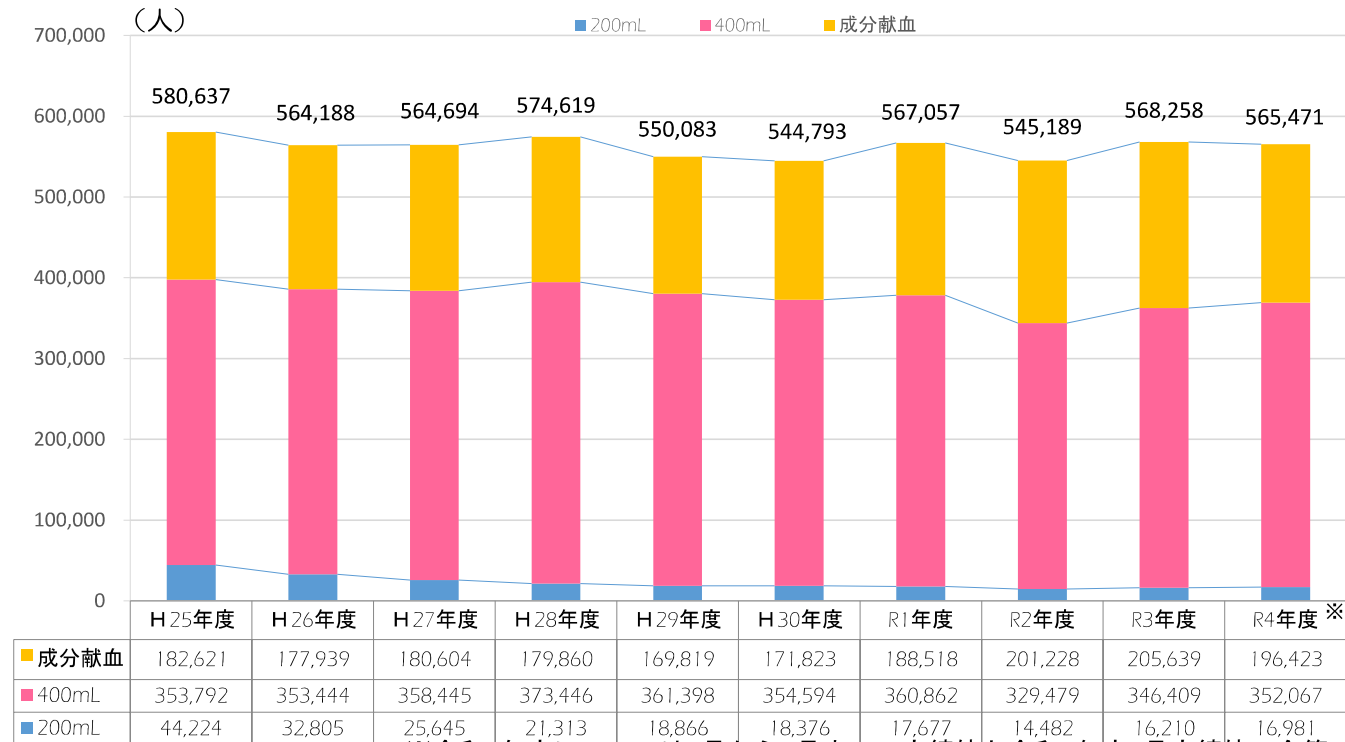
受付・接遇



採血室



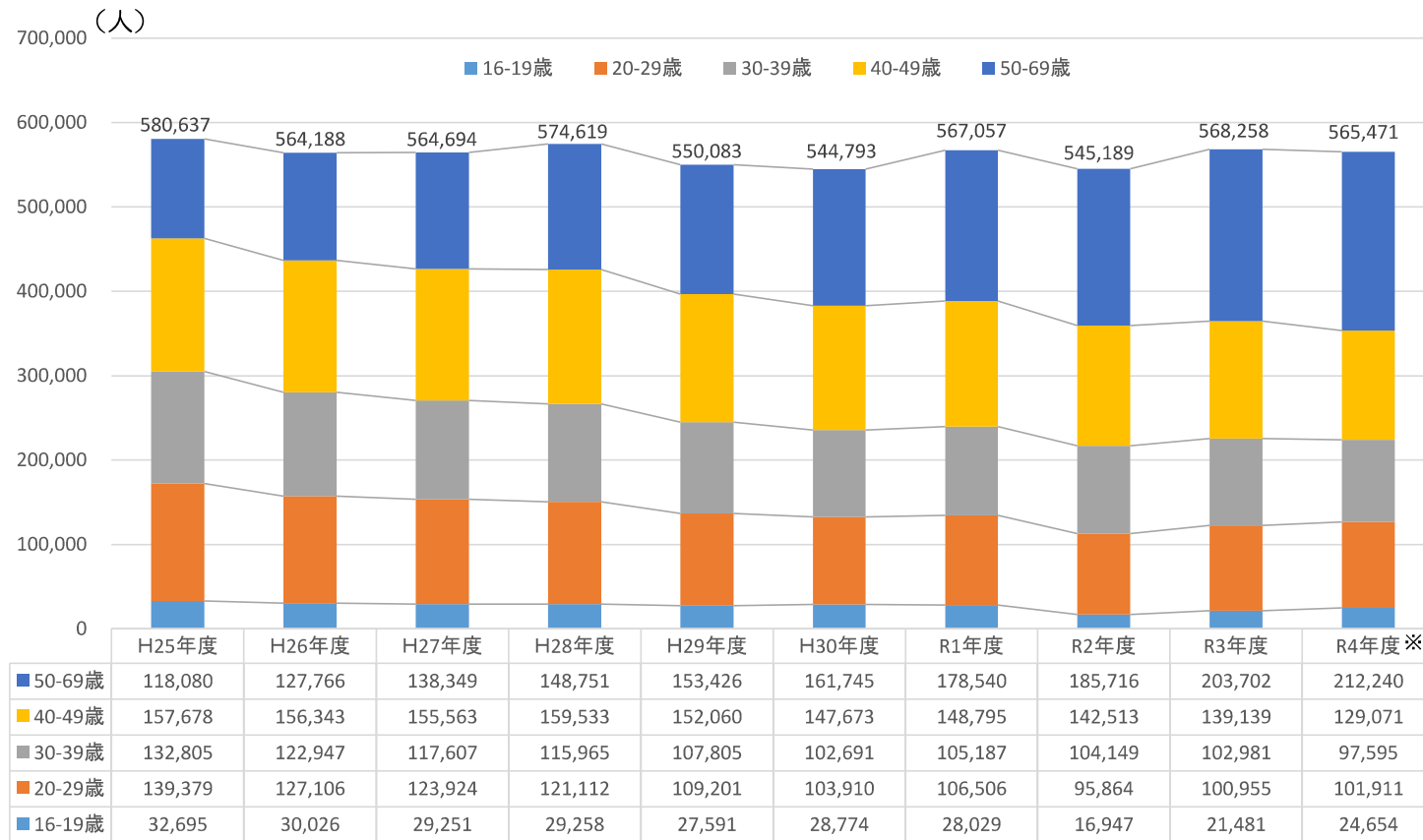
5. 献血者数(東京都)



※令和4年度については4月から2月までの実績値と令和3年度3月実績値の合算

- 赤血球製剤の需要増加に伴い、献血ルームにおいて全血献血の受入れを強化した結果、前年度より200mLで771人、400mLで5,658人増加見込み。
- 令和4年度全体の献血者数としては、特に血漿献血の減少により、前年度より全体で2,787人減少する見込み。血小板献血は、関東ブロックでの広域需給体制による役割分担により、製造所に近い1都3県では単位換算で増加。

6. 年齢別・献血者数の推移(東京都)



※令和4年度については4月から2月までの実績値と令和3年度3月実績値の合算

- ・ コロナ禍以降、50代以上の献血者が増加、30代～40代は減少。
- ・ 10代～20代は前年度より増加、コロナ禍以前に回復傾向。

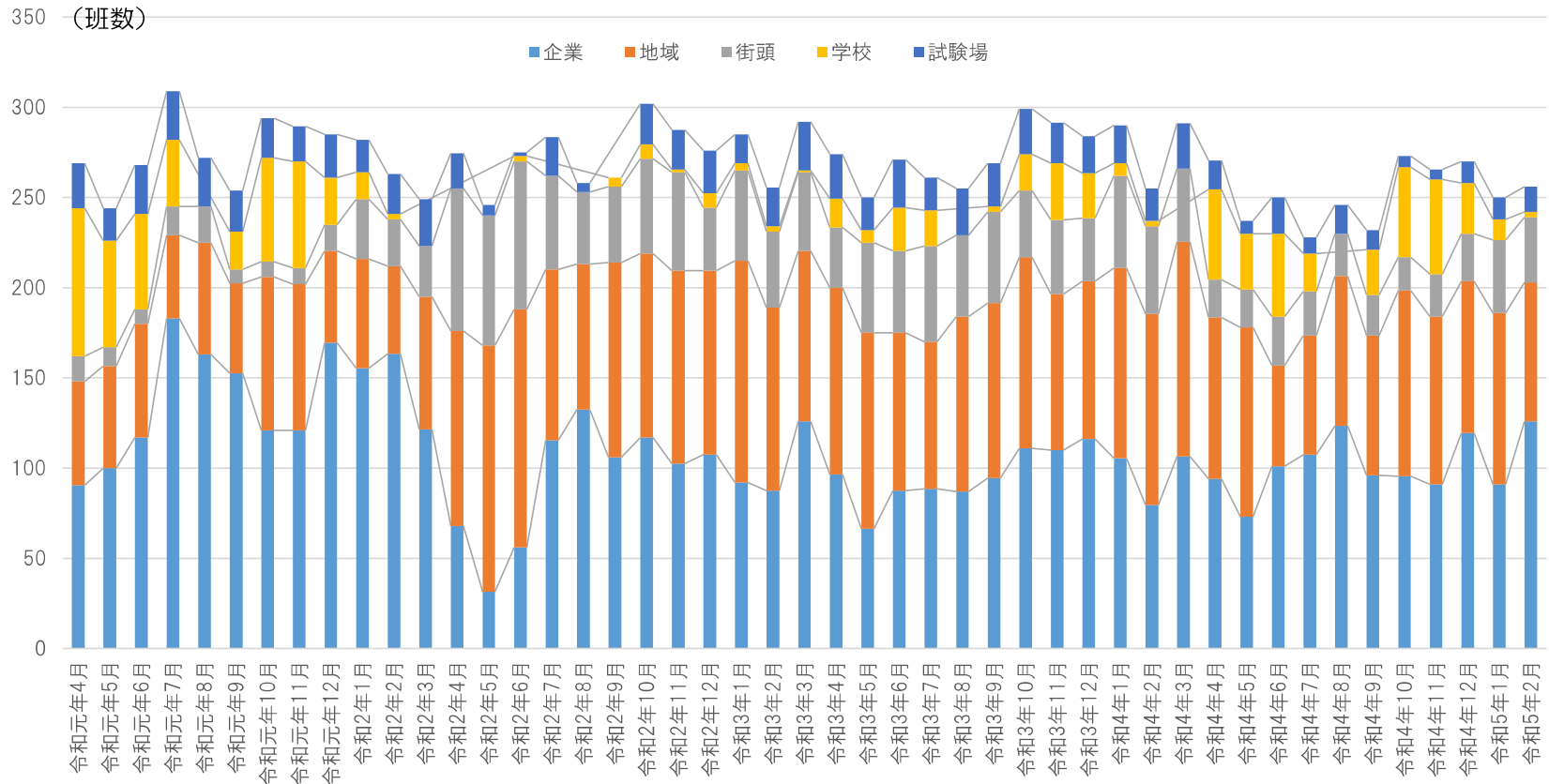
7. 職業別献血数(東京都)

	公務員	会社員	高校生	大学生	その他学生	主婦	自営業	その他	合計
令和元年度	55,177	348,224	8,969	44,414	7,078	27,837	19,141	56,217	567,057
令和2年度	55,547	340,296	8,240	27,380	5,868	29,556	20,737	57,565	545,189
令和3年度	56,471	351,292	8,836	35,931	6,107	30,632	21,348	57,641	568,258
令和4年度※	56,965	348,374	8,769	41,757	6,204	28,640	20,122	54,640	565,471
増減数 (令和4年度-令和元年度)	1,788	150	-200	-2,657	-874	803	981	-1,577	-1,586

※令和4年度については4月から2月までの実績値と令和3年度3月実績値の合算

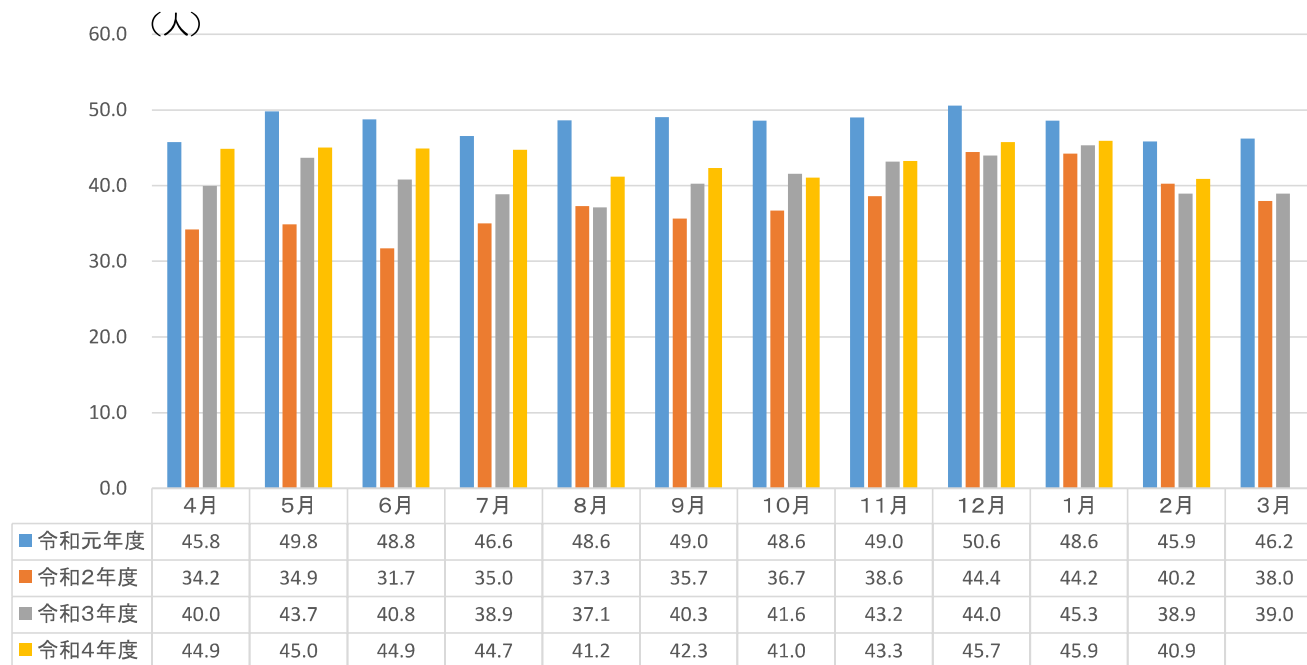
- 役所等への増車により、コロナ禍以降、公務員の献血者数は増加。
- 令和元年度の学生全体の献血者数60,461人から令和2年度は41,488人と大きく減少したが、令和4年度は56,730人とコロナ禍以降、回復傾向。

8. 献血実施会場域別推移（東京都）令和元年度～令和4年度



- 推移としては、中止会場の減少により、その振替先としていた「街頭・試験場」が減少。学校献血の再開により「学校」は増加。「企業・地域」については横ばいの傾向。
- コロナ禍において、受付時間の延長等、献血ルームの受入れ体制を優先した結果、移動採血会場は前年度4月～2月2,996班と比べ、令和4年度4月～2月で218班の減少。

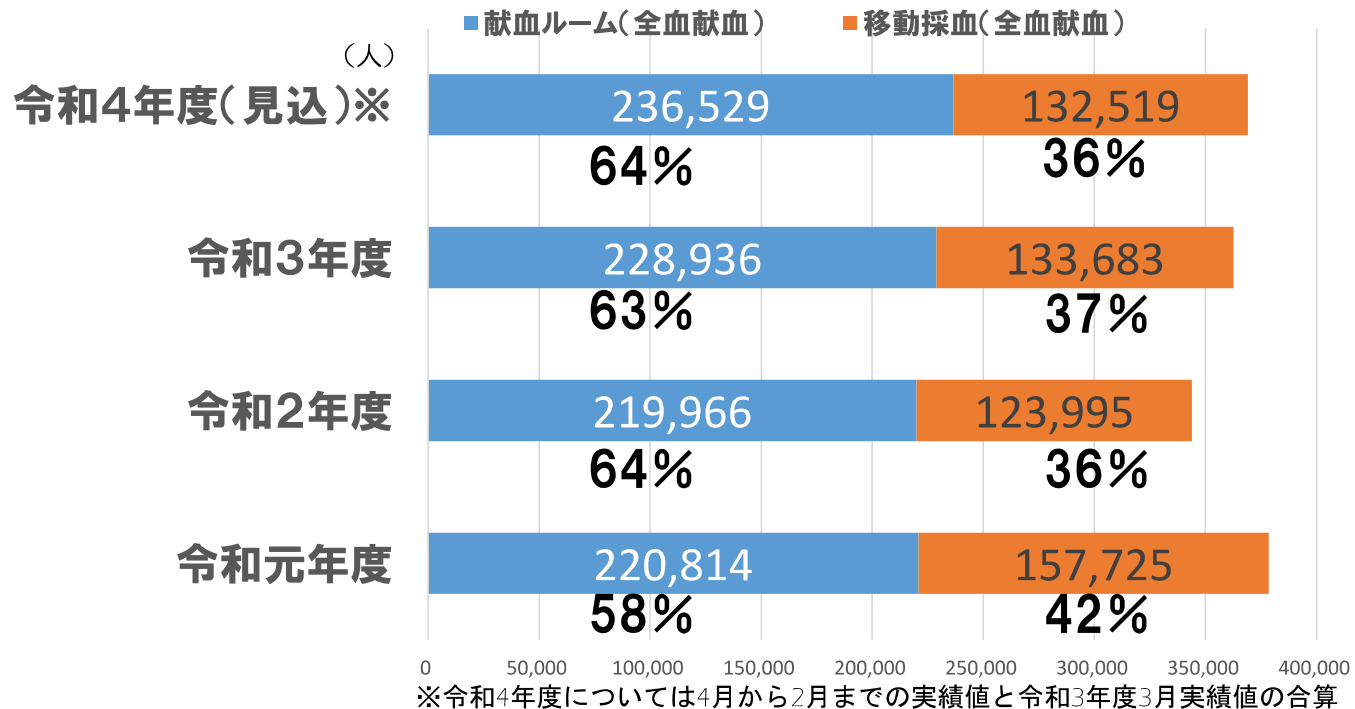
9. 献血バス・出張採血における1稼働当たりの献血者数



	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
街頭	41.9	33.2	40.5	44.4
運転免許試験場	41.6	31.4	35.5	38.7
学校	45.1	39.6	39.6	42.9
地域	44.7	36.4	41.8	43.4
企業	52.2	42.5	41.1	44.4
計	48.1	37.6	40.7	43.6

1会場当たりの献血者数については、全ての会場において、前年度を上回る見込み。

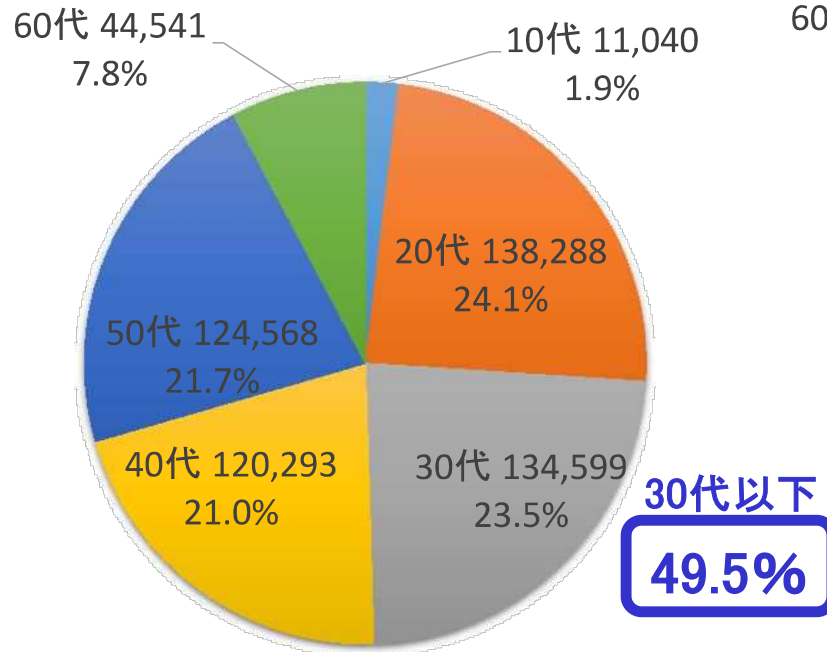
10. 受入施設別の全血献血比率の状況変化



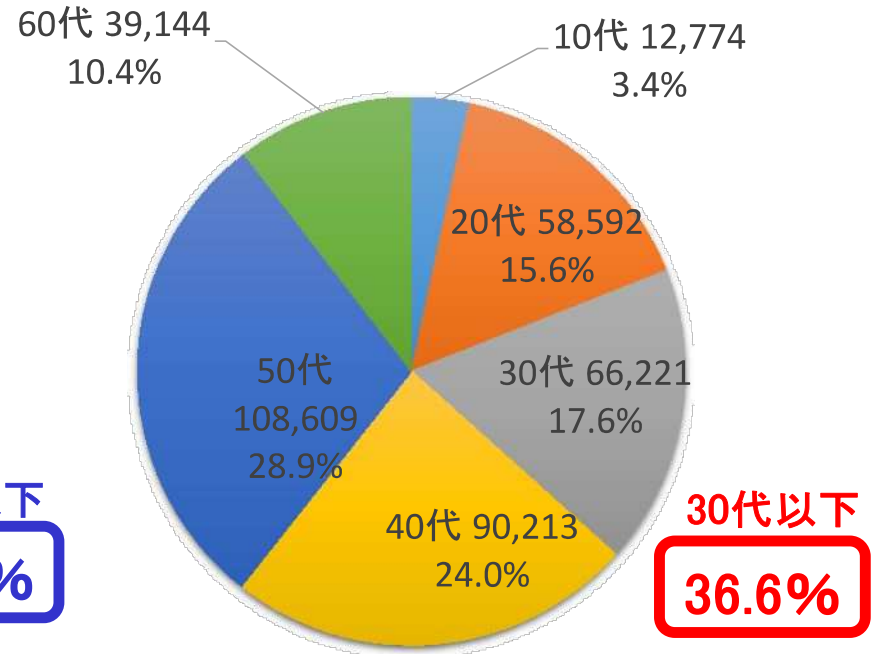
- 移動採血（献血バス+出張採血）については、前年度より一稼働当りの献血者数は増加したが、稼働班数が減少したため、献血者数も減少。
- 献血ルーム等への誘導をした結果、献血ルームは全血献血の献血者数が前年度を上回る見込み。

11. 複数回献血クラブ(ラブラッド)の状況

会員登録者数(東京都) R5.2現在
合計573,329人



会員献血者数(東京都) R4.4~R5.2
合計375,553人



■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代

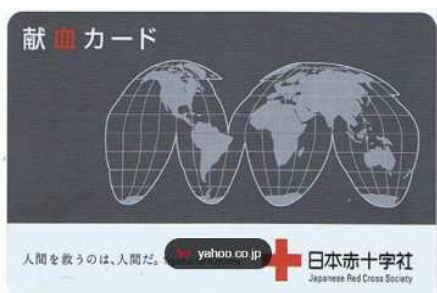
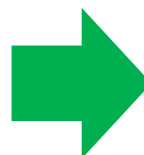
30代以下の会員の複数回献血強化

12. 献血Web会員サービス『ラブラッド』の改修①

献血受入業務のデジタル化(令和4年10月から)

献血者の利便性向上と献血カードの電子化を求める声に応えることに加え、コロナ禍による献血会場での滞在時間短縮や接触機会削減を図る必要性から改修

ラブラッドをスマホアプリ化し、献血カード機能を追加
献血カード



アプリ版献血カード



12. 献血Web会員サービス『ラブラッド』の改修②

事前Web問診回答

献血来所前に、ラブラッドから問診回答を入力

当日予約

各予約枠の3時間前まで予約の登録やキャンセルが可能

献血申込者照会画面の項目の事前入力

受付でお聞きしている項目(食事時間・睡眠時間等)について、ラブラッドでの事前入力が可能

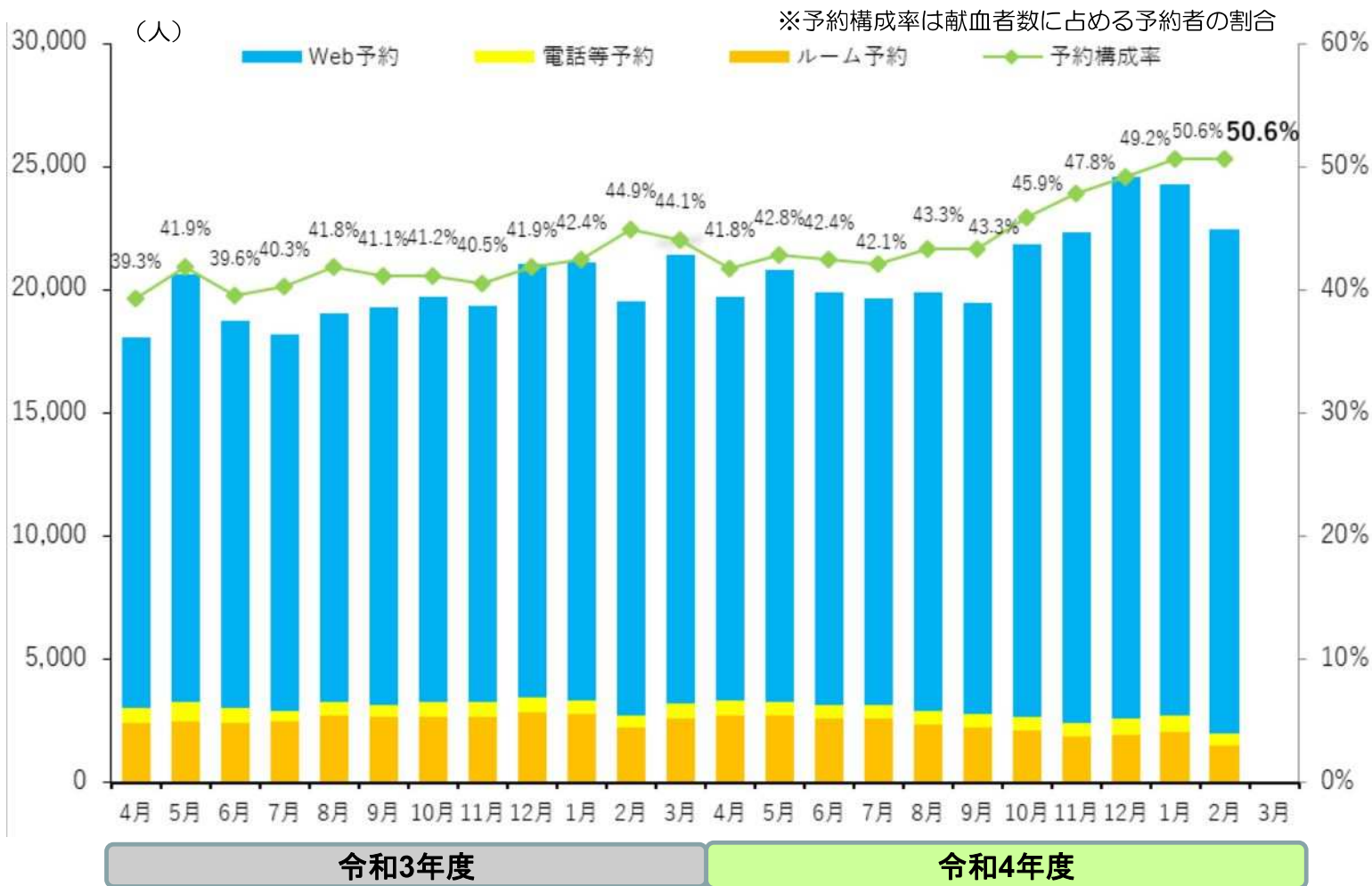
初回献血者、非会員による予約や事前Web問診回答

会員登録せずに予約機能を利用することが可能となり、初回献血者やラブラッド非会員による予約や事前問診回答が可能

プレ会員制度

献血可能年齢未満の若年層を主な対象とした会員制情報提供サービス
初回献血の推進 献血セミナー

13. 東京都内の献血予約状況 R3.4~R5.2

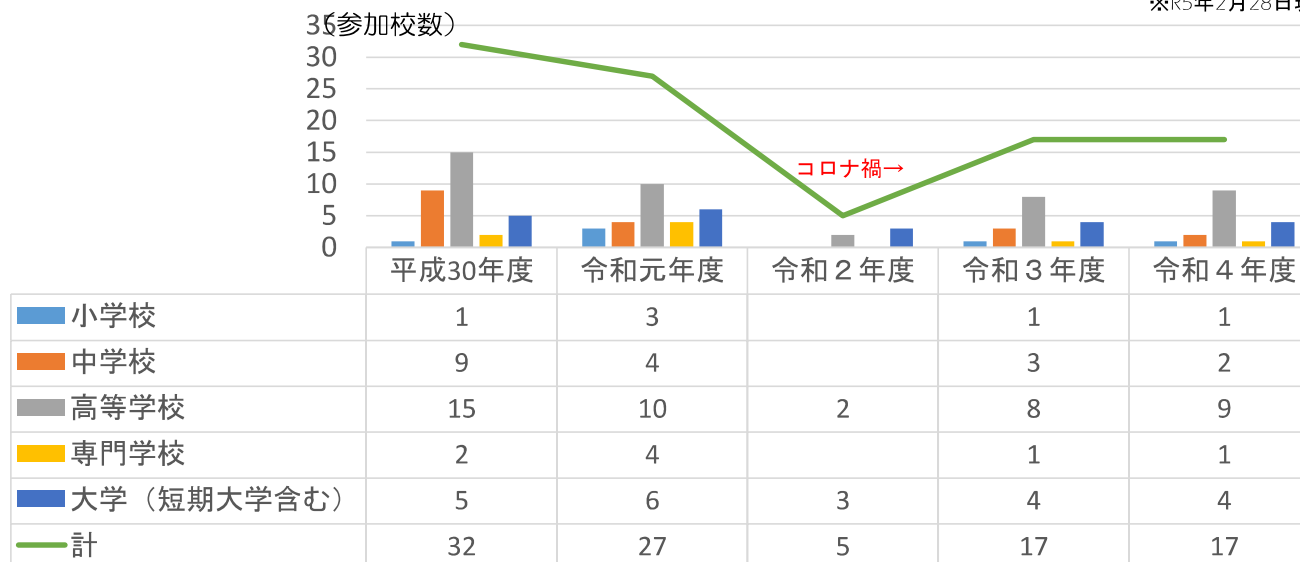


令和4年10月ラブラッドアプリ導入後、予約数が増加した。

14. 献血セミナー実施状況(東京都)

①学校のセミナー参加校数

※R5年2月28日現在



②献血セミナー全体の実施回数と参加者数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
セミナー実施回数 ※()はweb開催	58 (0)	8 (0)	42 (12)	44 (10)
セミナー参加者数	4,954	535	6,228	5,318

※R5年2月28日現在

学校の参加校数は前年度と変わらず。コロナ禍以降、企業等でのセミナー開催を推進した結果、参加者数は増加。

15. コロナ禍における令和4年度の対応①

- 安全な献血会場の運営
 - 職員の 体温測定、手指消毒の徹底
 - 献血会場の入口で体温測定、献血会場内の換気
 - 予約の推進（献血会場の混雑回避）
- 予約の推進
 - 献血 Web 会員サービス「ラブラッド」への登録を促進
 - 同サービスを活用した献血予約の推進 特に若年層の協力拡大
- 大学生協様への献血活動協力をお願い
 - 献血推進ポスターの掲示協力（関東甲信越69大学生協）
 - 献血実施に向けた連携（東京都内の大学22校、都以外の大学18校にて献血）

都内大学の献血実施回数及び献血者数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
大学献血実施回数	366	9	147	295
献血者数	16,449	333	5,857	12,769

ポスター 献血推進ポスターの掲示協力



15. コロナ禍における令和4年度の対応②

○都知事からの献血協力メッセージ

都知事の発信力と知名度を生かし、都知事から都民に対して直接メッセージをいただき、広報展開。

○東京都政連携団体の協力

○中止会場への対応

社内・学内ポータル等の媒体を活用し、献血ルーム等への誘導
 献血実施可能な企業・団体に対しては、実施回数の増加を依頼
 居住地を考慮した地域の方を対象とした振替先献血会場の設置
 地域の方を対象としたメール・ハガキ・電話による振替先献血会場への誘導
 新たな献血団体の開拓
 年末年始の献血ルームの臨時開所



16. 今後の課題

【献血協力者の確保】

- 献血会場の確保
- 予約の推進
- 若年層における献血者確保(10代・20代・30代)
- 献血の重要性の理解度の向上
→献血行動に繋げる→献血セミナーの開催拡大

【必要な血液の確保】

- 400mL献血率の向上
- 血漿分画製剤用原料血漿の確保

ご清聴ありがとうございました



献血キャラクター

けんけつちゃん